



白神山と日本海



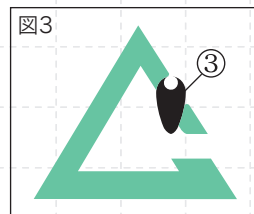
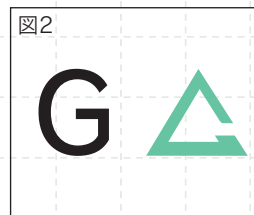
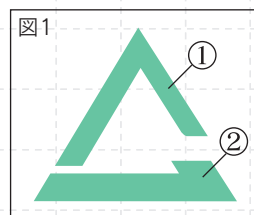
八峰白神ジオパーク構想マーク

ロゴマーク

上のマークは八峰白神ジオパーク構想のマークです。このデザインは町内の方に作っていただきました。今回はこのロゴマークについて紹介をしていきたいと思えます。(ページの都合上、本来のマークと違った色で印刷されています。ご了承ください。)

このマークは当地域にまつわる様々ものをイメージしてデザインされています。まずマークの骨格となっている三角形の部分から見えていきましょう。この三角形を下図1のように①と②に分解してみます。①の部分は険しく切り立った「白神山」、②の部分は「日本海」を表現しています。ちょうど上の写真のようなイメージです。どちらも八峰町を語る上で欠かせないもので、この二つを合わせて「白神を中心とした八峰町の地形、生態系」などを表現しています。これらの部分は山と海それぞれの色合いをイメージした深い青色です。それから、この形はアルファベットの「G」の文字でもあります。ジオパークは英語では「Geopark」と書きますので、その頭文字「G」の形にデザインされています(下図2)。

次に、丸みを帯びた部分(下図3③)を見てみましょう。この部分は本来は赤い色で着色されている部分で、地下にあると考えられる「マグマ」を表現しています。当ジオパーク構想では「白神山はなぜ高い?」ということを研究テーマに掲げています。高い理由は、地下にあるマグマが下から大地を押し上げてきているからではないかという考えのもと研究しています。このマグマには、白神山地をはじめとした八峰町の大地の形成に関わっている火山活動が表現されています。



もうひとつ隠されています

ジオパークは日本語にすると「大地の公園」となります。公園はみんなが楽しむ場所ですよ。つまり、ジオパークとは楽しい場所を作りあげていく活動のことなのです。その舞台となるのは私たちが住んでいるこの地域です。活動を支えていくには専門家だけでなく、地域の方々の力がとても重要となります。

もう一度、上のマークを見てください。よく見ると、人の横顔(右を向いている)に見えませんか?これには、「ジオパークに大切なのは、地質・地形だけではなく、場所づくりに携わる“人”なのだ」という思いが込められています。当地域では皆さんと活動を進めていけるよう現在いろいろなことを検討中です。

日本ジオパークネットワークのホームページでは、認定地域のマークを見ることができます。各地域の想いが込められたマークを見比べて見るのも面白いかもしれませんね。

八峰白神ジオパーク推進協議会

事務局 神垣恭彦

八峰白神ジオパーク推進協議会

秋田県山本郡八峰町

峰浜田中字野田沢20-1 峰栄館2階

TEL 0185-70-3881